

【オリコンサルグローバルら実証 風力と太陽光を活用 サウジでハイブリッド再エネ発電を構築】

サウジでハイブリッド

ド再エネ発電を構築 オリコンサルト実証

風力と太陽光を活用

オーディオ・マガジン

（東芝ESS）は、新エネルギー・産業技術総合開発機構の支援の下、サウジアラビアのサウジアラビア電力公社（SEC）と共に、「ハイブリッド再エネ発電システム」の実証事業を開始した。期間は2028年5月まで。

風力発電と太陽光発電の2種類の再生可能エネルギーと蓄電池システムをエネルギー・マネジメントシステム(EMS)で制御する。

力発電設備の実証サイトに、新たに太陽光発電設備と蓄電池システムを設置し、それらを統合的に制御するEMSを導入する。

蓄電池システムは、
充放電しても劣化しにくい
長寿命性能で、再生エネルギー
一発電量の変動抑制に適する
出力型蓄電池と、電力ピーク
シフトに適する容量型蓄電池

の2種類を用意する。

い再エネの安定電源化、再エネの余剰電力の活用、既設変

電所の過負荷の抑制の実現を目指す。また、ハイブリッド再エネ発電システムの経済性を高めるため、蓄電池の出力を増加させ、温室効果ガス削減量の増加を実証する。

二タリングもする。
OCGは、実証設備の全体設計と供給、温室効果ガス削減量と導入設備の経済性を評価する。東芝ESSは、これまで国内外で蓄積してきたEMSと蓄電池システムの知見を実証設備の設計に生かし、実証から得られるデータを解析する。